

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府八尾市弓削町南1-18	氏名	株式会社シーズクリエイト 代表取締役 宮城 正一
特定事業者の主たる業種		15印刷・同関連業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>●商業印刷を中心とした、出版・コミュニケーションツールなどの総合印刷</li> <li>●折込チラシ・DM・カタログ・パンフレット・フリーペーパーなどの企画制作</li> <li>●商業印刷機6台所有</li> </ul>		

## ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	4,889 t-CO <sub>2</sub>	3,956 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	5,308 t-CO <sub>2</sub>	4,303 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.0%	-0.4%	3.1%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-0.4%	3.1%	2.9%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(生産量)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

## ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

1. 乾燥炉遮熱施工後、排気ファンインバーター設定を変更(排気量抑制) 2. 動力400Vへ高調波抑制装置を設置 3. 一部高照度のLED照明へ交換(消費電力減)	2. 動力400Vへ高調波抑制装置を設置 3. 一部高照度のLED照明へ交換(消費電力減)
---	--

### (2) 推進体制

全社的に温暖化対策に取り組む為、エネルギーマネジメントシステムを導入済み	
エネルギー管理委員会を設置し省エネ及び温室効果ガス削減への取り組みを進め、毎月の進捗状況を報告し現状改善などを検討しています。	

## 実績報告書

届出者	住所	大阪府箕面市半町3丁目13-4	氏名	株式会社ジーライオンレンタリース 代表取締役 岡本 真一
特定事業者の主たる業種		95その他のサービス業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		レンタカー事業		

### ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

#### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	1,341 t-CO <sub>2</sub>	911 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	1,341 t-CO <sub>2</sub>	0 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

#### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	レ	3.0%	30.5%	-10.3%	32.1%
		%	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		%	%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

### ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

#### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

現状、削減で着手できるのは、電力、紙資源のペーパーレス、導入車両のエコ車両化。  
 従業員の交通手段を自家用車から公共交通機関に切り替える予定であったが、コロナ禍の中でもあり人ゴミを避ける観点から今回は見送った。  
 熱中症のことを考えると、エアコンの利用に関してもメスを入れにくい。  
 インフラ整備と従業員の健康とのバランスを取っていく施策に難しさを感じた。

#### (2) 推進体制

本部機能を本社に置き、そこから事業統括部長を経由して各店長に指揮命令が下りる体制を確立。各店長をサポートする従業員が実際に配車等の業務を行うアルバイト社員に指導する体制を取っている。安全や環境に関する意識醸成を推進している。  
 意識醸成のための施策(朝礼や張り紙)は本部より発信し体制通りに周知指導徹底している。

# 実績報告書

届出者	住所	大阪市西淀川区竹島2-3-18	氏名	シノプフーズ株式会社 代表取締役社長 松本 崇志
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		米飯加工食品（弁当、おにぎり、お寿司等）・調理パン（サンドイッチ等）・惣菜などの製造販売		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	9,434 t-CO <sub>2</sub>	10,813 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	9,837 t-CO <sub>2</sub>	12,331 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	9.0 %	17.1 %	2.1 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	8.0 %	16.5 %	-7.2 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 大阪市内の工場総売上高 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

工場移転により工場規模が大きくなった為、単年の削減率は悪化していますが工場新設の為、最新の省エネ設備を導入しております。
--

(2) 推進体制

全社として温暖化対策に取り組むために各対象事業所長を責任者とした泰正にて、目標達成に取り組んでおります。
--

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府貝塚市二色中町8-4	氏名	昭和ステアテクノ株式会社 代表取締役社長 植野 徳仁
特定事業者の主たる業種		31輸送用機械器具製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		自動車部分品・附属品製造		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	3,229 t-CO <sub>2</sub>	3,116 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,554 t-CO <sub>2</sub>	3,414 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	10.4 %	14.7 %	11.4 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	9.8 %	14.8 %	11.8 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値		( 生産全工程数 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)		

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

順調	
----	--

(2) 推進体制

	工場長を責任者とする省エネルギー管理組織を組織するとともに、管理標準を作成し、体制を整備した上、省エネルギー等環境保全活動を行っていく。
--	--

## 実績報告書

		大阪市中央区南船場2-12-12		新家工業株式会社 代表取締役社長 井上 智司
届出者	住所		氏名	
特定事業者の主たる業種		22鉄鋼業		
該当する特定事業者の要件	レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者		
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者		
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者		
事業の概要		主にステンレス及び鉄の溶接鋼管の製造販売を行い、全国に4工場3営業所があり、大阪市には本社と関西工場がある。本社は総務部門及び経理部門がある。		

### ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	2017年 4月 1日～ 2020年 3月 31日 (3年間)
----------	---------------------------------

#### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	3,344 t-CO <sub>2</sub>	2,679 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,790 t-CO <sub>2</sub>	3,008 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

#### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	10.9 %	20.5 %	17.6 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	11.2 %	20.6 %	18.4 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 鋼管生産量[ 造管+研磨+塗装 ] )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

### ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

#### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

温室効果ガスの削減に、対策実施の効果よりも大きな影響を与えた事象として、2017年度から続く、建物・付属設備・機械及び装置等の撤去・解体が進み、電気使用量が減少された事が、削減率の向上に影響していると考えられます。また、前年(2018年度)との変化点としては、新築事務所棟で都市ガスの使用が開始されました。

#### (2) 推進体制

ISO14001の取り組みの中でエネルギー使用量の削減目標に取り組みます。

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市都島区東野田町 2005/11/25	氏名	シンドー株式会社 取締役社長 高倉 浩司
特定事業者の主たる業種		11繊維工業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		各種生地（主にニット生地）の染色、及び整理加工		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2018 年	4 月	1 日	～	2021 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2017 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	3,062 t-CO <sub>2</sub>	2,679 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,155 t-CO <sub>2</sub>	2,792 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	-6.6 %	%	%
削減率(平準化補正ベース)		%	-7.8 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 生産量 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>生産量の低下、付加加工の増加により、時間とエネルギーの使用量が増えている。品質に伴う加工の合理化。コロナウイルス、取引先の営業自粛。自社も営業できず安定的な加工内容の確保は、これから先期待できず、社会的に生産維持の目標が困難である。経営の持続に伴いエネルギーコスト管理不安定になるでしょう。</p>
--

(2) 推進体制

<p>加工内容の徹底、加工量、エネルギーコスト、トータル的なみかたをして、営業時間(加工運転)の短縮を進めていく。エネルギーを少しでも無駄に使わず、会社の存続に努めることに努力する。</p>
---